

週報 こひつじ

第40巻 34号
大津キリスト教会
南池郡大津町室 119
TEL 096-293-4470
FAX 096-293-4961
牧師 米村 英二

「イエス様に導かれ、信仰を持つ
てば救われるとの教えですが、た
ストを信じなかつた人びとはみな
またま導かれなかつた(善良な)人
永遠の罰を受けるということを、
たちは死後どうなるのでしょうか」事実、意味するのでしょうか」

前にも、ある方から同様の質問
を受けたことがあります。

「私はクリスチヤンです。救わ
れてイエス様とともに歩む生活は
すばらしいと思っています。と同
時に仏教徒である自分の両親をも
愛しています。自分は救われて感
謝だと思う反面、仏教徒である両
親は、永遠の御国では、どうなる
のでしょうか。『わたしを通してで
なければ、だれひとり父のみもと
に来ることはありません』(ヨハネ
四章六節)といふことは、キリ
スマトを信じなかつた人びとはみな
さまざまな解釈があるからです。
おそらく今回も、自分の体験に
よる個人的考え方以上のことを述べ
ることはできないでしょう。です
こら、これはそういうものとして
読み、それ以上のことは、ご自分
の信仰生活の中で直接主の御声を
聞いていただきたいと思います。

そこで思いました。自分は何か
大きな勘違いをしているのではな
いかと。

いつたい、神は、キリスト教に
ふれたこともない多くの日本人の
ことをどう思われているのだろう
か。イエスを信じるものだけが救
われるとするなら（宣教師たちは
そう教えているようにぼくには思
い）。

しかし、あの宣教師と出会った
高校生は、ぼくだけでなくほかに
もたくさんいた。なかには彼女か
ら英語を習っていた同級生たちも
いた。が、彼らが信仰に導かれた
なかつたら、ぼくの人生はまた
な別のものとなつていただろう。

まわりを見ると、自分のようにキリスト教について考えている人があまりに少ないということに。彼らの大多数はクリスチヤンではありません。それなのに善良で、それなのに田舎の小さな町にやす。ぼくなんかより、ずっと誠実に人生を生きているように見えます。

たこともなければ聖書を読んだこともない。無縁の環境に育つた。教会に行つて、高校生だつたぼくはクリスチヤンになつた。

クリスマスではなし
多くの善良な人たちは、
永遠の世界ではどうなるのか（一）

確かにぼくにとって、クリスチヤンになつたことは新世界の発見でした。神の大きな愛にふれ、その方が自分のほんとうの父だと知つたとき、人生は、今までと全く違つて大きな意味を持つものとなつました。キリスト教との出会いは、他のどんなものにも代えることのできない体験だつたのです。

しかし、そのときは宣教師たちの言葉を鵜呑みにせず、ひとまず棚の上に置き、いつか神様がぼくの心に明らかにしてくださるのを待とうと思つたのです。

それから何年かたつて、こんな見放されているというのだろうか。その疑問はぼくの心中にいつもありました。

そこで思いました。自分は何か
大きな勘違いをしているのではな
いかと。

いつたい、神は、キリスト教に
ふれたこともない多くの日本人の
ことをどう思われているのだろう
か。イエスを信じるものだけが救
われるとするなら（宣教師たちは
そう教えているようにぼくには思
い）。

しかし、あの宣教師と出会った
高校生は、ぼくだけでなくほかに
もたくさんいた。なかには彼女か
ら英語を習っていた同級生たちも
いた。が、彼らが信仰に導かれた
なかつたら、ぼくの人生はまたた
く別のものとなつていただろう。

まわりを見ると、自分のようにキリスト教について考えている人があまりに少ないということに。彼らの大多数はクリスチヤンではありません。それなのに善良で、それなのに田舎の小さな町にやす。ぼくなんかより、ずっと誠実に人生を生きているように見えます。

たこともなければ聖書を読んだこともない。無縁の環境に育つた。教会に行つて、高校生だつたぼくはクリスチヤンになつた。

あれから半世紀がたつて、今もしばしばぼくの心にやつて来るのは、

「私が何者だというので、あなたは私を心に留められたのですか」

という感情です。

なぜ自分はクリスチヤンになれ

て、他の人はそうでなかつたのか。

ぼくは、兄弟三人の中で、だれより親を困らせる子どもだつたの

でしよう。父がこんなことを言つ

たことがあります。

「おまえを静かにさせておけば、家庭は平和だつた。だから、小さいときから、おまえばかりをたたいてきた。それで、考えるところがあつて、おまえはきっと宗教に走つたのだろう」

だから不思議でならないのです。そんな自分をなぜ神が心に留められたのかが。

そんな疑問を持っていたとき、内村鑑三の次の文章を読んだので

「余にはまだキリスト教はよくわからない。余はまだ余の信ずるところをことごとく聖書の言をもつて証明することはできない。しか

しながら、余が今日信するところはこれである。すなわち神はすでにキリストをもつて人類全体を救

いたもうたということである。すなわち世には救われない人とは

一人もないということである。

余がこの説をいだく主なる理由

は個人的である。余は思う。もし

世に救われない人が一人でもある

とするなら、その人は余自身であ

る。余は罪人のかしらである。ゆ

えに余が救いにもれざらんがため

には、すべての人が救われなけ

ればならない。万人救済は余一人

の救済のために必要である。余は

普遍的救済を信ずるによつてのみ、敵であるサウルの子を殺せば、ダ

ビデは喜び、自分を優遇してくれ

ると思いました。しかしダビデの

反応はまったく予想もしないもの

でした。ダビデは、自分の益にな

ることなら、何でも受け入れる人

心を留めてくださらない者などひ

つたのではないでしょうか。

先週の出席

今日の礼拝

○第一礼拝は午前一〇時から、

第二礼拝は午前一一時から。

富浦牧師夫妻へ

○教会学校は午前一〇時から。

○説教は米村牧師。

吉岡裕美さん。

先週の礼拝

○司会は宮元隆博さん、奏楽は

内村の心深くにあつたのは、「私

が何者なので、神は私に心を留め

られたのか、私のような者に神が

られたのか、私を育てられたご夫妻に脱帽です。

ラダビデの意外な反応について語

られた。略奪隊長は、ダビデの

とくに母親の彩さんの苦労は大

きかったでしょう。六人の子ども

さんたちの食事を毎日つくる。そ

れだけでも大きな仕事です。しか

もそれは今も続いています。妻は、

自分の経験から、そんな彩さんを

名、第一が三六名、合計八〇名（男二七、女五三）。それに子どもが六名、合わせて八六名でした。

礼拝参加者は、第一礼拝が四四

ぜひ、また、ご家族でおいでください。

富浦先生の証も多くの人的心を打ちました。

先生ご夫妻の、K B Iでの働きが祝福されますように。